

刈谷市スマートシティ推進協議会

ID 1011496

地域課題の解決につながるスマートシティの取組を産学官共創で推進していくため、10月4日に「刈谷市スマートシティ推進協議会」を設立しました。

【推進協議会会員】(10月4日時点)

(株)アイシン、(株)ジェイテクト、(株)デンソー、トヨタ車体(株)、(株)豊田自動織機、トヨタ紡織(株)、東海旅客鉄道(株)、名古屋鉄道(株)、NTTコミュニケーションズ(株)、西日本電信電話(株)、医療法人豊田会、中部電力パワーグリッド(株)、東邦ガス(株)、角文(株)、愛知県、刈谷市



刈谷スマートウェルネスプロジェクト

ID 1011356

地域医療・介護のスマート化のモデルケースの構築を目指す取組で、愛知県スマートシティモデル事業\*の採択を受けて、3件のフィールド実証を実施しています。

\*愛知県が県内市町村を対象に、スマートシティの取組のモデルとなる事業を公募・選定し、提案市町村に委託して実施する市町村のスマートシティの取組を後押しする事業

(1) 5Gを活用した救急医療分野のフィールド実証

高速・低遅延である5G回線を活用して、スマートフォンで撮影する救急現場の様子などをリアルタイムで病院へ伝送することで、最適かつ迅速な受け入れ体制の構築につなげる。



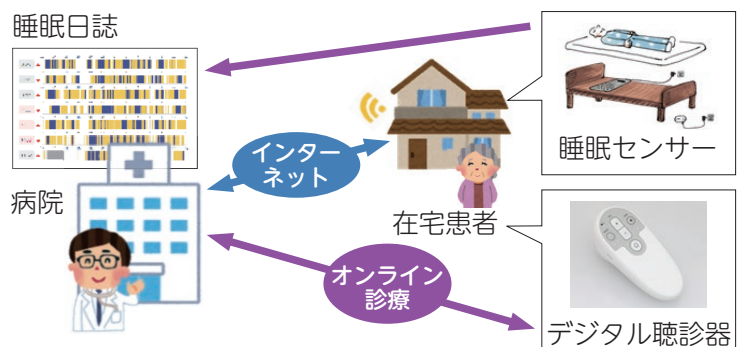
(2) スマートデバイスによる遠隔診療

睡眠センサー

睡眠センサーにより、遠隔で在宅患者のライフログデータ(呼吸数・心拍数・睡眠覚醒)を収集し、在宅患者の見守りを実施する。

デジタル聴診器

訪問看護時に、デジタル聴診器を活用して病院にいる医師が遠隔で心音・呼吸音を確認する遠隔診療を実施する。



(3) パワーアシストスーツ、歩行訓練ロボットなどのフィールド実証

パワーアシストスーツを活用し、介護現場における介助作業の負担軽減を図る。

また、歩行訓練ロボットの活用と歩行動画をアプリで解析することによる歩行能力の可視化により、歩行訓練精度の向上を図る。



パワーアシストスーツ



歩行訓練ロボット



歩行解析アプリ